

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公表番号】特表2008-539030(P2008-539030A)

【公表日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2008-509101(P2008-509101)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/368 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/368

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

埋め込み可能医療デバイスであって、

前記デバイスが、2 腔ペースピングモードで作動しているか、又は、心房ベースペースピングモードで作動しているか、を判断する手段と、

心房捕捉管理を行うために、前記デバイスが 2 腔ペースピングモードで作動していることに  
応じた心房腔リセット (A C R) 試験と、房室伝導 (A V C) 試験とのいずれかのみを  
選択する手段と、

前記デバイスが、心房ベースペースピングモードで作動していることに応じて、A C R 試  
験と、房室伝導 (A V C) 試験のいずれかを選択する手段と、

比較的信頼性の高い房室伝導の検出に基づいて、心房ベースペースピングモードと 2 腔ペ  
ースピングモードとの間で切換える手段と

を備える、埋め込み可能医療デバイス。

【請求項 2】

前記心房腔リセット (A C R) 試験と前記房室伝導 (A V C) 試験のいずれかを選択す  
る手段は、不安定な心房ペースピングが発生しており、且つ、前記埋め込み可能医療デバイ  
スが前記心房ベースペースピングモードにあるときに、前記 A V C 試験を選択する、請求項  
1 に記載の埋め込み可能医療デバイス。

【請求項 3】

前記心房腔リセット (A C R) 試験と前記房室伝導 (A V C) 試験のいずれかを選択す  
る手段は、不安定な心房ペースピングが発生しており、且つ、患者の房室伝導時間が 4 0 0  
ミリ秒を超え、且つ、前記デバイスが前記心房ベースペースピングモードにあるときに、前  
記房室伝導 (A V C) 試験を選択する、請求項 1 に記載の埋め込み可能医療デバイス。